

火災予防

回覧

春・夏編

火災はちょっとした不注意によるものから自然災害によるものまで原因は様々です。これからの時季は、レジャーやイベントなども多くなり、火気の使用も見込まれます。未然防止対策をとることで、火災発生のリスクを減らし生命・身体・財産を守りましょう。

ガストーチによるやけどや火災に注意しましょう。

やけどに注意！

火炎放射中はもちろん、使用後数分間は火口付近が高温となっていますので誤って触れてしまう恐れがない場所で冷ましましょう。

使用目的・場面にあった製品を使用しましょう。

ガストーチは「屋外専用」や「調理専用」など使用目的が限定された製品があります。使用目的に合わない使い方をすると思わぬ事故が発生する恐れがありますので、取扱説明書をよく確認してから使いましょう。

また、屋外や明るい場所では、炎が見えづらくなったり、風が強い場合は、炎が思わぬ方向に放射されることがあるので注意してください。

正しく保管しましょう。

ガストーチとガスカートリッジを接続したまま保管すると、誤作動やガス漏れの危険があります。ガスカートリッジを取り外すことができない製品を除き、取り外して保管してください。ガスカートリッジには必ずキャップをしてください。

また、ガスカートリッジを備蓄品として保管する場合には、保管場所によっては容器が腐食することがありますので、適度に使用して入れ替えるようにお願いします。

消防署では、ガスカートリッジの処分はしませんので、製造元や販売店にご相談してください。

火災に注意！

ガストーチなどを使用し、家の周囲の雑草や枯草を焼却すると、気づかないうちに建物の外壁の下から火が入ってしまい、建物火災となった事例もあります。

雑草や枯草は、焼却処分するのではなくごみとして適切に処理しましょう。



火気器具は大変便利ですが、間違った使い方をすると重大な事故につながりますので、説明書などをよく確認して正しい使い方や管理をお願いします。

消防本部予防課53—1905・1906